

中札内村総合行政推進委員会 第2回財政部会 会議録

日 時 令和5年9月27日（水） 19:00～21:00
場 所 役場庁舎 会議室2
出席委員 鳥倉華以、桑田尚行、丹野 優、日比野正、佐久間正、斉藤雅美（6名）
欠席委員 奥井千英子、嶋崎直子、鎌田 修（3名）
事 務 局 産業課長 尾野悟里、施設課長 川尻年和、教育次長 渡辺大輔
総務課長 中道真也、総務課長補佐 下浦強、総務課主査 竹村幸二

議 事

（開 会） 19:00

（中道課長） 皆様お忙しい中、財政部会に出席いただきまして誠にありがとうございます。
令和4年度に実施した事業の政策評価の結果について、皆さんから意見を頂きますので、よろしくお願いいたします。
それでは、鳥倉部会長から挨拶をお願いいたします。

（鳥倉部会長） 皆さんこんばんは。内容が多いため、円滑に進行していきたいと思います。

（中道課長） これからの議事は、鳥倉部会長の進行で進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

（鳥倉部会長） それでは、審議を進めさせていただきます。
審議事項の令和4年度事業に関する政策評価と村長公約の進捗状況についての概要説明を事務局からお願いします。

（下浦補佐） はじめに、政策評価の概要等について説明します。
「政策評価」とは、行政が実施している施策や事務事業について、業務の内容・成果を毎年度点検・検証し、その評価結果を次の政策の立案や推進に活かすことで、政策の質的向上を図るための手法です。
また、村のまちづくり基本条例の第9章において、政策評価を実施し、村民参加による評価を行うことと規定しています。
評価にあたっては第一次評価として担当課による評価、第二次評価として村長・副村長による評価、第三次評価として総合行政推進委員会による村民評価の3段階で評価を行い、それぞれの視点で事業に対する検証・評価を行います。
令和4年度の事業評価については、まちづくり計画の節毎の33項目について実施しています。
第2期村長公約の進捗状況は、20公約について実施状況の確認を行い、令和4年度における状況は、実施済みが15公約、一部実施が4公約、検討中が

1 公約となっています。

令和4年度政策評価書は事前に郵送させていただいたとおりとなっており、本日は村民による第三次評価として、委員の皆様からご意見をいただければと思います。以上で政策評価の概要説明を終わります。

(鳥倉部会長) ただ今、政策評価の概要について説明がありました。

続いて、各実施事業の審議を始めて行きたいと思います。進め方について、事務局から説明をお願いします。

(下浦補佐) 本日の財政部会では、教育委員会、産業課、施設課に係る令和4年度事業に関する政策評価について、事前に抽出した9つの節に関して、審議を行います。

進め方としては、評価書のすべてを説明するとかなりの時間が掛かりますので、1つの節ごとに、各課長等からポイントをしばって評価書の説明をしたのち、1節ごとに、皆さんから意見を伺います。

(鳥倉部会長) ただいまの進め方についてはよろしいでしょうか。

(意見等なし)

それでは、始めに教育委員会から説明をお願いします。

(渡辺次長) ー資料に基づいて説明ー

(鳥倉部会長) ただいま教育委員会から説明がありました。それではみなさんから質問、意見をお願いします。説明のあった所以外でもかまいません。

【P34～P42 学校教育の推進】

(委 員) 少年団の指導者が少ないです。子どもがバトミントン、水泳と通いましたがボランティアで成り立っている状態です。謝礼を考えると団費を上げないとやっていけません。水泳少年団は、外部から指導者をお願いして来てもらっています。来年度から考えなければなりません。子どももなかなか集まりません。団員が少ないと家庭の負担が大きいです。補助金などがあると助かります。

文化連盟の地域移行は、指導者が1人しかいなく、仕事もあるため、協力は難しい状況だと思います。

(渡辺次長) 部活動の地域移行は、全国的な課題です。中学校の部活動を地域のクラブへ移行するというもので、先生方の働き方改革の一環で進めるとともに、少子化により部活動が成り立たなくなっている状況があります。今年度からコーディネーターとして専任の職員を配置し、現在は、少年団を含めて話し合っているところです。地域移行すると指導に対してボランティアではなく、報酬が必要と考えています。習い事と同じ考え方です。保護者にも費用負担してもらう必要はありますが、負担が大きすぎると参加させられないという話になり得

ます。行政から何らかの助成金や補助金は必要だと感じているところです。今後、制度設計していきたいと思います。

また、全国的に子供が減っている状況の中で、小さな村が単独で実施していくのは困難であり、近隣町村と合同でやっていく必要があると考えています。部活動は合同による活動が既に始まっています。近いうちに更別村と連携を取った中で、部活動を継続出来る環境づくりを進めていきたいと思っています。

(委 員) 子供たちの運動に対して、地域移行は一つの方法です。学業と身体の発達を両面でみていくなら、費用については保護者に負担がかからないようにしてはどうでしょうか。学校でやっていた時は費用がかからなかったのに、外部へ委託したら費用負担が発生するとなると、格差が生まれるのではないのでしょうか。

(渡辺次長) 過度な負担があっては、参加できなくなると懸念しています。どういった受け皿ができるかによっても思っています。ピータンスポーツクラブが発展して受け皿になっていくイメージを持っています。村が関わる体制の中で継続出来たらという想いです。補助制度も考えていきたいと思っています。

(委 員) お金がなくて大学に行けない子もいます。昨年度の大学生等生活支援臨時給付金について、大学へ進学していないために5万円がもらえず、不公平に感じた子がいたと思います。18歳で一律にもらえるようにしても良かったのではないのでしょうか。

(渡辺次長) 昨年度の大学生等生活支援臨時給付金は、コロナ禍による大学生や専門学校生に対する支援が無い中で、臨時的に特例で支給したものです。働いている人や事業所に対しての臨時交付金を活用した給付は別にあったと思います。

高等学校就学支援対策事業補助金については、村に高校がないため村外に通学する必要があることから、保護者の経済的負担を軽減する目的で交付しています。補助金に色を付けることなく、負担軽減という意味で支給しています。

(委 員) 山村留学制度は、順調に伸びています。継続的に進めていくことで良いのでしょうか。

(渡辺次長) 継続する意向です。

(委 員) 令和6年度の中学1年生が2クラスになっているのは、山村留学が関係あるのでしょうか。

(渡辺次長) ときわ野分譲地に子育て世代が増えたことによる影響であり、山村留学の関係ではありません。

(委 員) 山村留学の子と地域の子の数が逆転していますね。

(渡辺次長) 山村留学は、継続していこうという機運が地域で高まっています。地元の子が少なくなって、山村留学によって児童数が変動する状況です。児童数が少なくなると、養護教諭や事務職員が配置されないなど、学校運営にも支障が出てくるため、今後も協議していく必要はあります。

(委 員) 帯広市ですら、児童生徒の少ない学校は統合されて無くなっています。村は無理しているのではないのでしょうか。

(委 員) 言いにくいですが、山村留学は綱渡りの状態です。上札内小学校が必要かどうか、もう一度議論する必要があると思います。中札内小学校に統合しないとやっていけないのではないのでしょうか。村の発祥の地である上札内を大切にすることはわかりますが、住んでいる方の家族構成を見れば、将来的な児童数の予測が付きません。良い環境で学校教育が受けられるかは別物だと思っています。

学校を一本化することは、早くやった方が良いです。小規模校に通った小学生が、中学校でいきなり大所帯になると、戸惑ってしまう子がいるのも事実です。子どものために考えなければなりません。

(渡辺次長) 将来的な児童数は推計できます。児童数が減るタイミングが近いうちにきます。今は前向きな方向で進めたいという地域の考えがあります。

(委 員) 学校は上札内小学校でなくても、住むところが上札内ならば、中札内小学校に通っても山村留学になるのではないですか。建屋はどこでも良いのではないのでしょうか。

(渡辺次長) 山村留学の世帯が定住してくれたらと思っています。

(委 員) スクールバスを使えば楽しく通えると思います。

【P43～44 社会教育・生涯学習の推進】

(委 員) 南砺市交流は、良い経験だと思いました。今後どうなるか気になっていきます。行きたいと思っていた子がいましたが、すぐに定員に達してしまい、行けない子が多く残念でした。定員を増やせたら良かったと思います。

(渡辺次長) 受け入れ先の制限もあり定員を設定しました。南砺市は、もともと合併前の福野町と本村が姉妹提携していたところからの繋がりであり、南砺市とは改めて姉妹提携をしておりません。旧町村単位で自立して地域の方々が実施しており、先方の人員体制が厳しいのが実情です。村として富山県南砺市と交流をどう続けていくかは課題です。もともとは産業面や観光面で連携して

いたものが、途絶えてしまっています。

子どもたちの事業については、道内のジュニアアウトドアスクールを組み替えて、新たな事業を構築したいと考えているところです。

(委 員) 子供たちには良い経験だと思います。続けてもらいたいです。

(渡辺次長) 中学校では川越市との交流があるほか、国際交流でハワイ州との交流もあります。

【P47～50 文化・芸術、スポーツの振興】

(委 員) ファツィオリピアノの調律はどうしているのでしょうか。

(渡辺次長) 主催者の負担で調律してもらっています。それ以外は、村が費用を負担して実施しています。

(委 員) P.48 の4の(2)です。体育館のトレーニング室などの老朽化についてです。体育館の冬場の暖房について、どう考えているのでしょうか。寒くて運動できる状態ではありません。

冬場は、室温が上がっていないと運動できません。一人のために暖めるのは、暖房費用もかかるし言いにくいところですが。

(渡辺次長) 実態を押さえていませんでした。利用者がいないときに、全く暖房が入っていないのかを確認します。

(委 員) 逆に夏場は、エアコンが無いため暑すぎて体育館で少年団活動をするのが厳しい状況でした。2階は窓を開けても風が通りません。2階に体育館があるところはなかなかないと思います。

(委 員) 体育館は1階にもエアコンが付いていません。真夏に卓球に関わっていましたが、参加者は異常な汗をかいていました。

(委 員) 気候変動に公共施設が対応できていません。体育館の天井に大きな扇風機を付けてはどうでしょうか。

(委 員) プールが寒いと聞いたことがあります。私は行かないのでわかりませんが。

(委 員) プールは、水から上がったら寒いという声を聞きます。

【P51～55 農業基盤整備と経営支援】

(委 員) P.51 の土壌改良についてです。施肥マップの活用やデータの解析は行って

いるのでしょうか。

- (尾野課長) 衛星画像で施肥マッピングを行っています。これまでは地図データのダウンロードに時間がかかっていましたが、農村部の光回線開通により回線速度が上がり、衛星画像を使った施肥マッピングができるようになってきました。
- 畑に何が植わっているか、気象データとリンクできるようになっています。輪作体系を考えると、農協連のシステムを 100%使いこなせているかはわかりませんが、少しずつ研修を積んでやってきているところです。

- (委 員) 除礫した石が、置場がなく畑のふちに置いてあります。そのため畑の面積が狭くなってしまいます。石を捨てられる場所があると良いと思います。
- 山沿いの畑は、電柵を立てるようになりました。草刈りをしないと電柵が短絡してしまいます。1 辺が 500m 位あるため、結果的に草刈りできなくてショートしてしまいます。小さなトラクターが通れるような草刈りできる手立て、フォローが必要だと思います。

- (尾野課長) 礫は置いてはいますが、堆肥場を作ったりするのに必要な材料にもなります。ご意見として伺いたいと思います。畑から出る石の有効活用を農協と協議していきたいと考えています。電気柵は、多面的機能支払交付金の補助制度を使いながら設置しているものです。
- 電柵の草刈りスペースの問題についても確認してみます。通常は機械で草刈りを行っているため、刈りきれない部分が電柵の下に残っているのかもしれませんが。

- (委 員) 耕作量を増やすために、小さな草刈り機を使った方が良いと思います。

【P 60～62 商工業の振興、P63～65 観光・交流の振興】

- (委 員) P. 61 のキッチンカーについてです。個性あるお店が来ています。駐車スペースがあまりなく無理やり停めています。乗用車がトレーラーを付けているものもあります。スペースを確保出来たら良いと思うのですが。
- P. 64 のやまべ放流祭についてです。やまべ放流祭にニジマスが使われているなら、国立公園化した時に外来種だと言われる可能性があります。理論武装が必要です。
- P. 63 の (4) の空港からのアクセスについてです。路線バスで通れるようなものもアイデアとしてどうでしょうか。
- P. 64 の道の駅の老朽化ですが、ここで言う屋外トイレはどこを指しているのですか。

- (尾野課長) 屋外トイレとは、カントリープラザの横にある 24 時間使えるトイレのことです。

(委 員)

3年くらい故障で使用不能となっている小便器があります。年間何十万人もの観光客が訪れる施設で、トイレが毎年故障しているのは、印象が良くありません。

2万4千人が利用するキャンプ場はルール化が来ているのでしょうか。ゴミの分別などが出来ないと、熊がいる場所ですから、人身事故にもつながります。

(尾野課長)

キッチンカーは増えてきています。道の駅では、地元のキッチンカーはイベントスペースに入れています。地元以外の業者は、お祭りに限って開放しています。キッチンカーブームになってきているのは確かです。現在建設中のまちなかキッチンスタジオの前にもキッチンカーを置けるよう検討しています。

やまべ放流祭では、基本的にやまべしか放流していません。過去には、ニジマスを放流しているときもありました。現在は、国定公園の源流を抱えていることもあり、やまべのみの放流としています。

空港からのアクセスについては、帯広市、芽室町（更別村はエリアではない）と広域観光ルートの協議が進んでいるところです。

道の駅のトイレの老朽化については、課題として認識しています。建物を増築したために両サイドが下がってきています。勾配が取れず、ポンプアップしないと汚水が流れない状況であり、抜本的な解決策を検討する必要があります。

園地の生ごみ問題については、チェックインする際に、指定管理者から説明するようにしています。ゴミは全て山岳センターに持ってくるように指導しているところです。また、キャンプが終わった後、職員が見回りを行っています。熊が寄り付くと、園地が利用できなくなってしまうため、注意しています。

(委 員)

P. 60のキャッシュレス決済について、未対応の店があるとのことですが、早急に進めてもらいたいです。コロナが5類相当となり、インバウンドも期待できるところです。世界の時流に遅れないよう進めてほしいです。

村は、移住促進の考えがあると思いますが、道の駅にもインパクトのあるものがあると良いです。土幌や上土幌、音更の道の駅は、デジタルサイネージの使い方がうまいです。それほど費用をかけずに出来ると思います。

【P66～67 移住・定住の促進】

意見なし

【P77～79 道路、交通環境の整備】

(委 員)

P. 77の道道の管理について、冬季用の除雪ポールの代わりにLEDの矢印標

示が付いていますが、LED が切れているものがあります。北海道に言って対応してほしいと思います。場所は、水道企業団のあたりです。個人的には、普通のスノーボールが良いと思っています。

(川尻課長) 確認します。

【P84～85 住宅環境の整備】

(委 員) 上札内の公営住宅についてです。道道の左側にあった住宅（東団地 4 棟 8 戸）が取り壊され、右側に 1 棟新設されました（あすなろ団地 1 棟 4 戸）。

順次建設していく話は立ち消えになったと認識していたのに、おかしいと思います。方針が変わったのであれば、地域の住民に説明しないと不自然だと思います。

(川尻課長) 当時の詳しい話は押さえていません。

(委 員) 当時の副村長も説明会に来ていました。

(川尻課長) 当時は、取り壊して順次建設していくことで説明していましたが、アンケートを取って需要がないという判断になったのだと思います。

(委 員) 上札内の公営住宅を手当していくのならば、長期的な見通しを持って、住民に説明してから進めたほうがうまく行くと思います。新しい住宅に移転するとしても、家賃も上がってしまいます。

(川尻課長) まちづくりトークの中で、上札内地区への説明はしてきています。山村留学による需要増で住宅不足が発生しているなど、上札内地域の課題を踏まえ、公営住宅等長寿命化計画の中で、建設していくこととしました。パブリックコメントで意見もありました。既存の浄化槽をうまく活用しながら、あの土地を利活用していくこととしました。

(委 員) 鉄道記念公園が出来て活用されていますが、火気厳禁の記載がありません。火を使ったり焼肉をすることが禁止されているのであれば、禁止事項を書いた看板を掲示した方が良いのではないのでしょうか。子どもの遊ぶところで犬の散歩をするのもどうかと思っています。

また、大きい遊具が中心で、小さい子が遊べません。小さい子向けの遊具があっても良いと思います。また、車通りが激しいところなので、子ども飛び出し注意の看板を設置してほしいと思います。

(委 員) 村道であれば、道路に段差（減速帯）を付ける方が、看板よりは良いのではないのでしょうか。

(川尻課長) 道道であり、除雪にも支障が出るため、減速帯の設置は難しいです。看板は景観への配慮もあり、なるべく取り付けたくはないのですが、検討してみます。

(委 員) 鉄道記念公園の駐車場にキャンピングカーが停車していることがあります。村の人はキャンプなどしないと思いますが、他所から来ている人かもしれません。

(委 員) それでは、全体を通して何かありますか。無ければ、今日の審議はこれで終了したいと思います。
その他、事務局から何かありますか。

(下浦補佐) 本日は、村民の皆様に直接関わりのある9つの節についてご意見をいただきました。長時間にわたり、貴重なご意見をいただきありがとうございます。政策評価書及び今回の議事録については、発言者の氏名を伏せた状態で、後日、村ホームページで公開させていただきます。

次に、次回会議の開催予定についてお知らせします。

現在建設中のキッチンスタジオの利用料金の設定について、財政部会を開催する予定です。日程が決まりましたらご案内します。

また、現在村では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改訂作業と「第4期地球温暖化対策実行計画」等の策定作業を行っており、計画の案に対し、総合行政推進委員会の全体会議を開催し、ご意見をいただく予定です。近くなりましたら、ご案内させていただきます。

(鳥倉部会長) 最後に、全体を通じて何かございますか。

無ければ以上もちまして、財政部会を終了させていただきます。長時間にわたり大変お疲れ様でした。

(閉 会) 21:00